



Newspaper in Education

静岡新聞で学ぼう



記事を読んで、問いに答えなさい。
解答欄が足りない場合は、裏面に記すこと。

2021年 4月1日朝刊中部版

①清水港新興津埠頭が国際物流ターミナルとして稼働した場合、製紙工場が多数立地する岳南都市圏にどのような効果があるか、高校生らしい観点から考察せよ。



国土交通省は2021年度、清水港新興津埠頭（ふとぎ）の岸壁延伸工事に着手する。大型のバルブ船・コンテナ船を複数停泊させ、積み降ろしや倉庫への出入庫作業も非効率さが目立っていた。国は新規事業として、岸壁の西端を200メートル延長し、水深も大型船舶の停泊地にふさわしい15メートルを確保する工事を計画した。21年度に着手し、5年間に投じる総事業費として78億円を見込む。

岸壁延伸事業が決まった新興津埠頭は3月、清水港本社（ヘリテージ1号）から

清水港新興津岸壁200メートル延伸

21年度
国交省
貨物船大型化に対応

②清水港新興津岸壁200メートル延伸により、災害時における支援物資の輸送ネットワークはどのように強靱化されるか、考察せよ。

地元の荷役もバルブとコンテナの動線を交錯させず、安全かつ効率で行えるようになるという。

地元関係者は「清水港の物流機能拡充に加えて、本県の基幹産業の一つである製紙産業の国際競争力強化や地域経済の活性化にもつながる」と岸壁延伸の早期実現に期待を寄せている。

（清水支局・栗原広樹）

③パルプの輸入量増加に伴う船舶の大型化により大型貨物船が最大3隻停泊可能になった場合、静岡県の基幹産業の一つである製紙産業にとって国際競争力はどのように上がっていくか考察せよ。

年 組 名前

作問者：NIEアドバイザー 実石克巳（静岡高校 教諭）

（高校／国語）

<参考>①＝地域行政学、経済学に関する問題、②＝防災学、地域行政学に関する問題、③＝経済学、国際関係学、運輸学に関する問題